

グループ ブルー ③	兵頭 瑞希	SI 大洲	愛媛県立大洲高等学校
<p>“キラキラ女子高生集まれ！”まさに前回のサブタイトルに引き集められたようなユースの皆さんと過ごしたこの2日間は、私にとって刺激であり、“輝き”とよんでいいような、パワーを与えられたものでした。</p> <p>今回私たちは、2日間にわたって“女子力アップ”というテーマに沿って討論しました。グループ討論は時間内に収まらず、2日目にあったグループ発表に向けての準備は朝の4時までかかるという、想像を越える白熱ぶりでした。私は積極的な方ではないので、今回の討論でもあがったようないわゆる“典型的な日本人女性”なのかなという気がします。私の周りにも同じタイプの子が多いので、眠い目をこすりながらも粘って、“いいものを作ろう”としているみんなを見て、本当にここまでできるんだ、と底力を感じました。全く面識のなかった女子高生の集まりが、この2日間で協力し合い、一つのよりよいものを作ろうとしている姿は、そのままこれからの女性がよりよい社会を作ろうと努力する姿に重ねられるのではと思います。高橋先生の講演にもありましたが、“対話”によって一人一人の考え、個性を伝え合い、共有していく姿は、まさにそれぞれの女子力を感じさせられるものでした。</p> <p>最後に、このユースフォーラムに関わってくくださった全ての方に感謝し、私自身の女子力、私にできることを磨いていくことで社会に少しでも貢献していけたらなと思います。</p>			

グループ ブルー ④	木戸 寛捺	SI 防府	山口県立防府高等学校
<p>「女子力アップ！」～女性が夢を生きるために～と題し、二日間開催されたユースフォーラム。この参加を通じ、私はいくつかの大切なものを得ることができました。</p> <p>一つめは、学ぶ力です。ユースの皆さんのプレゼンや高橋先生のお話を聞くなかで、いかに自分が勉強不足であったか、ということを感じました。思えば私は、女性の不利を感じながらも、情報収集を積極的に行ってきませんでした。知ろうとしなければ何も分かりませんし、行動も起こせません。しかし、逆に言えば知ろうとすれば分かることは増え、行動を起こすことができるのだと思いました。</p> <p>二つめは、批判的な目です。グループ討論等では、速いスピードでの議論中に発言を行うには必要不可欠な能力ですが、今までの私はあまり意識したことがありませんでした。しっかりした信念や意見を持つユースの皆さんと出会ったことで、もっと成長しなければならないのだと思うことができました。</p> <p>最後に得たのは本当の女子力への扉です。女子力とは何か、という問いへの答えを、自分なりにでもようやく持つことができました。目指すものが見つかった今、あとは突き進んでいだけ。自分の夢をしっかりと生きていこうと思います。</p> <p>女性として歩む道は決して楽なものではありません。でも、壁にぶつかった時は丸亀での二日間を思い出し、女子力で乗り越えていきたいです。</p>			

グループ ブルー ⑤	木村 友美	SI 平和広島	広島女学院中学高等学校
<p>「女子力アップ」この言葉について今回、考えさせられました。ついつい私たちは外見的な要素に目がいってしまいがちです。しかし、外見ではなく内面の女性の力なのだとということを再認識できました。またブルーのグループメンバーとの議論は本当に新鮮でした。学校の友達にはいない、意見をはっきりまっすぐ伝える姿勢は自分への一つのお土産として目に焼き付けたいと感じたものです。一番印象に残ったのは女性の人権を考える上で大切なのは男性について考えること、という意見が出たことです。たしかに女性と男性は切っても切れない関係であり複雑でもあります。日本の歴史上、女性は弱い立場であるとの認識が根強く残っています。しかし、同時に男性も強い立場であらねばならないというようなプレッシャーを感じざるをえないのではないのでしょうか。こう考えると今の社会は女性にとっても男性にとっても生きにくい社会だと言えます。何が本当の平等なのかという問いを考え続けていた私ですが、「男女共存」という言葉に出会え心なしかすっきりしました。</p> <p>2日間という本当に短い期間でしたが1つの事柄について真剣に語り合える仲間に出会えました。自分がブルーのメンバーの一人であったことは本当に幸運でした。最高の時間を過ごしたと確信しています。フォーラムを開催するにあたって関わった方に感謝します。平和広島のメンバーの方々にも感謝です。</p>			

グループ ブルー ⑥	北原 美香	SI 児島	岡山県立倉敷鷺羽高等学校
<p>鷺羽高校内ではホームステイもしていたし今は生徒会長のリーダーもしていて、まわりの先生や生徒達から「すごいね。」と言われて少し嬉しかった。でもこのユースフォーラムに参加してみて、まわりのユースは頭が良さそうな人ばかりだし、自己紹介を聞いたら、生徒会長や部長はあたりまえプラス、ボランティアのリーダーだったりをしていたり、1年くらいアメリカにホームステイをしている人たちばかりで正直驚きました。最初はチームの人たちとも友達になれないと思っていたけど、相手から声を掛けてくれたから自然に話が進んだ。中国・四国地方のいろいろな高校から来ているからたくさんの方の話も聞けた！</p> <p>でも一番大きかったのは、今の女性という立場についての意見がみんなそれぞれ出て来て時間を忘れるくらい自分の意見を言い合えて、その言ったことに対して賛否両論あってもちゃんと答えが返ってくるのが今までになかったことでとても新鮮で楽しかった。</p> <p>今回のユースフォーラムを通して、他校のたくさんの方と意見を交わすことができ自分の世界のせまさを知ることができました。「ともに生きる」私たちのチームで提唱したこの題。男女が共に生きていくためには、女性が女性らしく社会で働き続けていくためにはどのように自分を変えていったらよいか。そして、男性も女性も生き生きとした社会を目標に進み続けていかなければいけないと思います。</p>			

グループ ブルー ⑦	河野 二葉	SI ウェストひろしま	山陽女学園 高等部
<p>私は今回このユースフォーラムに参加することができ、本当に良かったと思っています。普段、私達が思ったり、感じたりしていることを高校生の立場からシェアすることができたいい機会となった上、お互いにいい刺激を受けることができました。</p> <p>今回は「女子力アップ！～女性が夢を生きるために～」をテーマにこれから女性として社会で生きていくにはどうしたらいいかを話し合いました。様々な意見を聞いていく中で、女子力というものには外見的なことだけではなく内面からにじみでる女性だからできる心配りや、何事にも臨機応変に対応できるしなやかさや柔軟性のことを指すという意見が印象に残ったと同時に、自分自身その意見にとっても納得することができました。女性が社会で活躍するようになることが多くなってきて中で今回女子力について同世代の女の子たちのしっかりとした考え方や、強い意見を聞くことができたことは、自分にとって大きな自信となりました。</p> <p>今回、たくさんのすばらしい同世代の高校生たちとつながりが持てたことは私にとって一生の財産となり、このような機会を与えて下さったソロプチミストさんには大変感謝しています。ありがとうございました。これからはこの経験を生かし、様々な視点から物事をとらえ、自分の意見をしっかりと相手に伝えることができる未来に輝く女性になりたいです。</p>			

グループ ブルー ⑧	峰政 美晴	SI 備前	岡山県立備前緑陽高等学校
<p>今回、ユースフォーラムに参加して、私は自分を表現する大切さを学びました。私は、自分の通っている高校内では自分を表現する機会が多い方ですが、それはとても狭い視野であると気付かされました。ユースの皆は、私が普段スクールライフを共にしている友達とは全く雰囲気の違い、自ら進んで自分を表現することにとっても勝れていて、とても驚きました。そして、それは私にとってとても自分を表現しやすい環境だったと思います。</p> <p>ユースの皆は初対面だったのにも関わらず、本当に初対面なのかと疑問に思うほど、「女子力」という難しい議題について熱く真剣に、そして仲よく全員が自らの意見を発することができました。そして、今回の討論にも出たように「私たちは人の意見に流されやすい」ではなく、全員が十人十色の意見を発表できていたので、それはユースフォーラムのテーマでもある「女子力」に一歩近付けたのではないかと思います。</p> <p>また、私は自分を表現する大切さを学び得ただけでなく、このユースフォーラムを通して新たな素晴らしい友人も得ました。私の入っているブルーグループの良いところは、切り換えができることです。時には真剣に、時には和やかに討論することができました。</p> <p>私にとってユースフォーラムはとても刺激的で、新たな自分を見つけることができました。この経験を活かして、素敵な女性リーダーになれるよう頑張ります。</p>			

グループ ブルー ⑨	宮田 愛子	SI よさこい高知	土佐女子高等学校
<p>私が今回「国際ソロプチミスト」という団体を知ったのは「ユースフォーラム」への参加を薦められたときでした。論文を書くことと、プレゼンテーションの経験もなく、それに加えて「ジェンダー」について考えたこともありませんでした。しかし、資料や本や濱田美穂さんへのインタビューから、夢を叶える女性は自ら道を開く努力をした方だ。という考えに至りました。</p> <p>その考えを持って、ユースフォーラムに参加したのですが、私は討論や発表資料の作成を同世代の十人と行い、自分のジェンダー知識の浅さや現代社会の事を知らなすぎるということを始めに感じました。ですが、日常生活の中で、同世代の女子とここまで自分の意見を対等に対話したことはありませんでした。自分の意見を意見として言葉にするのは難しく、十一人の意見をまとめ、一つの資料として発表することは大変でしたが、本物の「言葉のキャッチボール」ができたと思います。</p> <p>今回、テーマであった「女子力」についてユース全員が自分の意見を持ち、挙手という形で意見交換できたことは、新しい発見もたくさんあり、自分の勇気との戦いもできて、とても有意義な時間を過ごせました。</p> <p>私の考える「女子力」とは外見だけにとらわれず、自分の意見を主張するような、大和撫子の部分を大切にできる力です。この二日間で、自分の理想の「女子」に大きく近づいたと実感しています。ありがとうございました。</p>			

グループ ブルー ⑩	中島 碩美	SI 岡山	就実高等学校
<p>私は、今回ユースフォーラムに参加して、とても沢山の刺激を受けました。</p> <p>一日目の朝、不安とともに岡山駅発のバスに乗り、ホテルへと到着しました。トラブルが重なり、不安だらけだったプレゼンテーションもいつの間にか終わり、基調講演を聞き、グループ討論を行う頃には、自然と友達が増え、不安な気持ちが薄れていきました。時間が足りない程、白熱した議論を繰り広げた討論では、様々な意見や考え方を吸収することができました。その後の夕食会では、他のグループの子たちとも仲良くなれ、お楽しみ会では1位をとれた程の盛り上がり様でした。グループ研究では、討論の時以上に積極的な議論が繰り広げられ、ようやく意見がまとまったのは、部屋に戻ってからでした。明け方まで続いた作業…私は寝ずに頑張りました。本番では試行錯誤して考えたプレゼンテーションは無事成功し、質疑応答も時間内に終わらせることができ、安心しました。</p> <p>二日間が終わって、率直に楽しかったと私は思います。出会って1日の仲間と議論し、共に悩み、一つのものを作り上げること。これは、体力的にも精神的にも辛いときもありました。でも、これができたのは、私たちの女子力の結晶と言えるのではないのでしょうか。私はこの二日間で急激に成長したと感じます。そして、この経験を活かすために、何らかの行動を起こしていこうと思います。二日間ありがとうございました。</p>			

グループ ブルー ⑪	ルードウィッグ 佳奈	SI 光	山口県立光高等学校
<p>今回、山口県立光高等学校からは初めてこのユースフォーラムに参加させていただきました。私は1年生で、他の先輩の参加者と比べてみれば経験も浅く、いろいろと迷惑をかけてしまったかもしれませんが、私自身はたくさんの違った意見をもつユースの方々に出会えて嬉しかったし、楽しくもありました。</p> <p>「女子力UP」という言葉を、男女差別のことや、ジェンダー問題のことを知らなかったころの私は、外見のことだと考えていました。髪を伸ばしている、くしを持ち歩いているなど…。しかし、このフォーラムに参加するにあたり事前に配布された資料を見たり、個人的に気になったことを調べたり、フォーラムでわかれたグループごとに行った討論などを通して、私の考えは変わりました。女子力とは、実は内面にあり、それをうまくひき出し活用することだったのだ、と思いました。また、討論中に出た話題で、女性ばかりに焦点をあてすぎてはいけない、ということもわかりましたし、とにかく、もうたくさんのことを学ばせていただきました。フォーラム参加の機会を与えてくださった先生、手伝ってくれた母、こんな私を引っ張ってくださった先輩方、みなさんに感謝をしています。</p> <p>私は自分でプレゼンを発表したり、討論で発言をしたりと、今回かなり「主張」をしてきました。今度は、その主張を行動に移せる、そんな女性を目指すべく、今、できることから女子力UPに取り組みます。</p>			